Computer Academy Nakamuragakuen
PROFESSIONAL COLLEGE

CANジャーナル

2017
平成29年
5月号

第３４８号　Ｎｏ．１

学校法人　中村学園
専門学校　静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

新入学生・御殿場宿泊研修

平成２９年４月１２日(水)～４月１４日(金)
於：国立中央青少年交流の家「富士のさと」

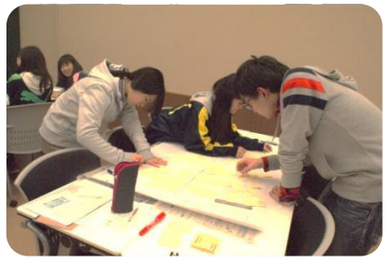
１年学年主任　１年子ども心理学科担任
井上　充子

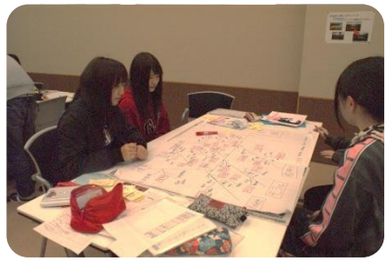
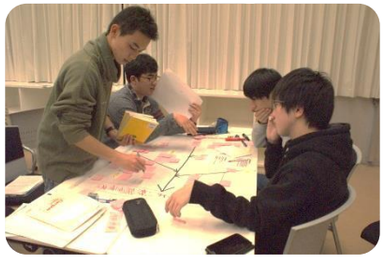
平成２９年度の新入学生を対象に、「挨拶を基調とした本学の学生としての心構えを身に付けると共に、一人でも多くの心の友(親友)ができる関係づくり」を目的とした、恒例の宿泊研修（２泊３日）を実施しました。

将来の就職に向け、社会に出て働くことのできる人材になるために本学の「建学の精神」の下に集まった学生たちが、自らの夢に向け、自己実現を図っていくこれからの学校生活をより意義のあるものとするための重要なスタートとなりました。「感謝の気持ちを忘れず、人を思いやる心を持ち、自ら考え、自らで行動すること」や、「なりたい自分になる」ための自分自身の目標を再確認し、自らに付加価値を付け具現化を図るための努力をするのです。入学して間もない、戸惑い交じりのこの時期の宿泊研修で、クラスメートであっても顔と名前の覚えが曖昧な状態で始まりましたが、グループワークでたくさんコミュニケーションを取る中で多くの学びや気づきのあった研修を経て、３日間を終える頃には同じ志を持つ者同士、仲間となり会話も弾んでいました。

新入学生の皆さん、校長先生をはじめ、先生方から教えていただいたことを胸に刻み、自分の目標(夢)に向かって全力で取り組み、充実した達成感ある、学生生活を送りましょう。

今回の研修を通して得た貴重な経験について、各学科の学生による報告を以下に掲載します。



専門学校静岡電子情報カレッジ

「挨拶」と「考える」こと

映像・音響デザイン学科１年　澤本　明蘭

私が御殿場宿泊研修を通して学んだことは、「コミュニケーション能力」と「知識」の必要性です。

学校で重要とされている「挨拶」は、社会に出てからも大切な事です。挨拶や、「ホウレンソウ(報告、連絡、相談)」ができることが、社会人への第一歩であることを再認識しました。

「知識」は、自分で考えて行動するときや、クレームなどに柔軟に対応するためにも必要になります。就職に必要な検定や技術も、知識がなくては使いこなせません。そのためには、学校での勉強だけでなく、アルバイトや企業でのインターンシップを通して社会を知り、知識とコミュニケーション能力を磨くことが必要だとも感じました。

この３日間の研修で得たものはこの２つだけではありませんが、これからの２年間、より多くの能力を身に付ける努力をしていきます。

私の「目標」は、願望では終わらせない

ロボット創造学科１年　渡部　燎フェルナンド

「星の王子さま」という有名な本を著したサンデクジュペリが、「計画のない目標は、ただの願望にすぎない」という素晴らしい格言を残しています。この格言には、「目標に向けて緻密な計画を立て、それを一つ一つ実行していく姿勢がなくては、どんな立派な目標もただの願望にすぎず、決して実現することはない。」という意味が込められています。少し厳しい格言ですが、とても的を射ていると今はものすごく感じます。

「目標」を持つことは、「より良い就職をするためには」最も重要なことだと考えます。格言にもありますが、準備や計画はとても大切です。私も入念な計画の下で「目標」を立て、その計画に沿って、ひとつひとつ実行し、成長していきたいです。

また、「目標」を達成するために１番必要なものは、「コミュニケーション能力」だと考えます。他の人に自分の考えや意見を伝え、理解してもらうことは、とても難しいことだと思います。そのため、普段から明るく接し、積極的に自分からアピールすることがとても大切であると気づきました。さらに、言葉づかいなどの言語力や、人に対する対応力は、「より良い就職をする」ために必要不可欠なスキルであると思います。

今回の宿泊研修では、その他にも様々なことに気づかされました。自分の夢を願望で終わらせないために、この気づきを大切にし、今後の学校生活に努めて参ります。

コミュニケーションを通じて「アイディア」を生む

ゲーム応用学科１年　髙木　周

この宿泊研修で最も大事だと思ったことは、コミュニケーション能力です。技術だけあっても人とコミュニケーションをとれなければ、社会に出てもうまく仕事ができません。

私は人と話すことがあまり得意ではありません。そこで、この宿泊研修中は、すれ違う様々な人と挨拶を交わしたり、夕べのつどいで前に出てマイクを使わずに挨拶を行ったり、他学科・他学校の人と会話をしたりなど、積極的にコミュニケーションを取る努力をしました。そこでさらに気づいたことがあります。「他人と話すことで、自分では考えられないようなアイディアを得られる可能性」があるかもしれないということです。TQC 活動中もそうでしたが、私のアイディアを基に、別の人がアイディアを出し、そのアイディアを基にさらにアイディアを出すなど、1 人では思い付かないアイディアがたくさん生まれました。これがチームで仕事をするということなのかと実感できました。

今後もグループで課題を行うことや、学校を越えた行事も多いと聞いています。今回の「気づき」を大切にし、多くの人と積極的に話し、コミュニケーション能力を身に付けます。そして、グループ活動では、このコミュニケーション能力を活かし、より良い活動が行えるようにしていきます。校長先生もおっしゃっていましたが、せっかくの２年間、どうせなら有意義なものにするため努力することをここに決意します。

Ｎｏ．２へ続く

第３４８号　Ｎｏ．２

Computer Academy Nakamuragakuen PROFESSIONAL COLLEGE

CANジャーナル

2017
平成29年
5月号

学校法人　中村学園
専門学校　静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

静岡福祉医療専門学校

「挨拶」と「コミュニケーション」

総合福祉学科１年　平野　裕子

私は、今回の宿泊研修で「挨拶」と「円滑なコミュニケーションの図り方」の大切さについて学ぶことができました。

元気よく挨拶することによって相手に与える印象が良くなるだけでなく、相手との関係づくりの基盤になることを知りました。挨拶の持つ力の大きさを、今回の研修を通して実感しました。

また、TQC ではわからないことがあったのにも関わらず、自己判断で進めたことによって班員に迷惑をかけてしまいました。他人の意見を聞く大切さ、そして、意見を伝えてもらうコミュニケーション力の必要性を痛感しました。

これら２つの学びを通し、人見知りをせず、人に話しかけられるようになることや、誰か１人に任せるのではなく、自分から意見を述べたり、チームで協力したりすることができるようになりたいと思うようになりました。

そして、社会人としてのマナーを身に付け、「チームで利用者様を支えることができる社会福祉士」になりたいと今、強く思っています。

「時間の共有」から「嬉しさ」や「楽しさ」を感じる

介護福祉学科１年　石間　恵介

今回の研修で私は、自分自身が目指す像を具体的にイメージできるようになりました。そして、そのイメージに近づくための手段を今回の研修を通して習得することができました。

それは、「人を知るには、何気ない時間を共有することが非常に大切である」ということです。寝食を共にすることによって、相手を知ることができました。第一印象で人を判断してしまうのではなく、時間を共有することから相手を知ることができるのだと実感しました。同時に、相手を知ることができた時に「嬉しさ」や「楽しさ」を感じている自分がいることに気づきました。

私は、「人の気持ちに寄り添うことのできる介護福祉士」になりたいと考えています。今回学んだ、時間を共有する以外にも相手を知る手段はたくさんあると思います。これからの学校生活では生活支援技術を学び、磨くと同時に、一つでも多くの「人を知る手段」を身に付けたいです。そして、目標とする姿になれるよう、限られた時間を有効に活用し、精一杯努力をしていきたいと思っています。

「コミュニケーション」から生まれた「心の友」

医療情報秘書科１年　髙橋　茉佑

私たちは２泊３日の宿泊研修で、これから社会に出た時に大切な礼儀作法を学び、また、ＴＱＣのグループワークでは「より良い就職をするために」というテーマについてグループで話し合いました。

礼儀作法では、尾崎先生から正しい言葉遣いや挨拶の仕方などを教えていただきました。私たちの最終的な職業は、常に人と関わっていくということです。その中で言葉遣いや挨拶というのはとても大切で、患者様から見た私たちの第一印象というのは、この時に一瞬で良いか悪いかが決まってしまうほどとても大切です。そのため私は、将来医療事務員として良い印象を与え笑顔で受診していただけるよう、尾崎先生の言葉を日々心に留めて、今この時から常に意識していきたいと思います。

また、ＴＱＣの活動を行う中で、コミュニケーションの大切さを改めて知ることができました。一人で喋っているだけでは何も始まりません。みんなでお互いの意見を出し合いコミュニケーションをとることで、グループワークが成り立ちます。人任せではなく１人１人が協力する心を持ち、コミュニケーションをたくさんとることで、良い仲になっていくんだと感じました。

研修の一つの目的は「一人でも多くの心の友を」ということでしたが、この２泊３日を通してたくさんの人と関わり、輪を広げていく中で、この目的も達成できたのではないかと思います。とても充実した２泊３日でした。

３年間の目標ができた３日間

子ども心理学科１年　中野　響子

２泊３日の新入生宿泊研修を無事に終え、多くのことを得ることができました。お天気に恵まれ、箱根でのオリエンテーリングも実施し、自然の中をみんなで歩いたり、お弁当を食べたりできて嬉しかったです。また、青少年交流の家では、TQC 活動を皆で行うことで、私だけでなく他のクラスの仲間がどのように将来のことを考えているかなどが分かり、学生生活を始めるにあたり、夢に向け目標達成のために何をしていくべきなのかということが少し明確になったような気がしました。

２日目の礼法では、貴重な経験をさせていただきました。普段あまり正座をしないのですが、静かな時間の流れを感じながら、尾崎先生のお言葉ひとつひとつが心に響きました。感謝や人を思いやる気持ちを表す方法のひとつとして、挨拶も礼儀作法も大切なことだと知りました。

私はこの宿泊研修を通して、同じ志を持つ仲間とのコミュニケーションをとることの大切さを学ぶことができ、もう少し人と積極的に関わっていけるように３年間の中で努力していこうと決心しました。また、所員さんのお話しの中で“心が変われば行動が変わる”という言葉を教えていただいたので、常に気持ちの中で思っていけるようにしたいです。

校長先生をはじめ、事前研修を含め講義や訓話をいただいた先生方、青少年交流の家の所員の方々、実り多き研修をさせていただきありがとうございました。

企画広報室より

企画広報室　松本　郁世

皆さん、こんにちは！

新年度が始まり、はや１か月が経ちましたが、学校生活に慣れましたか？１年生については、御殿場での宿泊研修がきっかけとなり、『気持ちの良い挨拶』が出来るようになった印象を受けます。『挨拶』はコミュニケーションの源となりますし、就職活動には欠かせないことです。普段から意識しましょう。

また、就職活動中の皆さん、活動は自分の思ったように進まない時もあると思います。そんな時は、まず深く深呼吸をし、『笑顔』を忘れず自分の夢に向かい邁進してください。皆さんの夢が叶うよう応援しています！！

さて、企画広報室では、本学の学生募集活動として、『オープンキャンパス♪』の開催、皆さんの出身高校への訪問など、年間を通じて様々な活動をしています。

学生の皆さんは母校である高校を訪れることはありますか？皆さんが頑張っている姿を、母校の先生方も喜んでくれると思います。是非、訪れてみてください。

また、２号館１階にある企画広報室にも遊びに来てください。皆さんから教えていただく近況について、高校訪問の際に先生へお伝えしています。恩師の先生方に伝えてほしいことなどなど‥‥何でも構いません。２号館１階で待っています。

先月に引き続き、今月もオープンキャンパスを開催します。既に後輩の方に本学を紹介してくれた方もいます。今後についても「電子情報」「福祉医療」を目指す方へ、告知していただけると有り難いです。皆さんとともに中村学園を盛り上げていきたいと思います。よろしくお願いします！！

＊オープンキャンパス開催日程＊

○体験入学、学校・学科説明会、なんでも相談会

- ５月２０日(土)　１３：１５～１５：４５
- ６月１７日(土)　１３：１５～１５：４５
- ７月　８日(土)　１３：１５～１５：４５
- ７月２２日(土)　１３：１５～１５：４５

○学校・学科説明会、なんでも相談会

- ５月１７日(水)　１７：００～１８：３０
- ６月１４日(水)　１７：００～１８：３０

Ｎｏ．３へ続く